

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-1	ゆたっとはうすの理念「ゆっくり・楽しく・笑顔で」過ごせるように、入居者個々の行動障害の原因の分析し入居者同士の関係性を良くする方法の検討を行うと共に、職員同士の考え方も共有していく。	・入居者同士の関係性を良くする。	・季節ごとのドライブ(桜、紫陽花、ひまわり、コスモス等)に出掛ける。定期的なテーブル席替える。施設内の行事を多くする。地域の行事(老人会の花見・小中運動会・市民運動会・敬老会等)に参加する。	12 ヶ月
2	1-1	ゆたっとはうすの理念「ゆっくり・楽しく・笑顔で」過ごせるように、入居者個々の行動障害の原因の分析し入居者同士の関係性を良くする方法の検討を行うと共に、職員同士の考え方も共有していく。	・職員同士の考え方を共有する。	・報告・連絡・相談を確実にを行う。 ・介護技術の確認、見直しを行う。業務日誌等記録を確実にする。	12 ヶ月
3	26-10	アセスメント用紙の中の生活歴を増やすと共に、行動障害の真の原因や背景を、要望等を膨らませる。前文の課題分析結果を基に、解決策や短期目標(できそうなこと)なども深めていく。	・本人・家族の思いを再確認する。	・再アセスメントを家族等に再度確認し情報を得る。 ・ゆっくりと話を聞く時間を増やしアセスメント用紙に記録に残す。	12 ヶ月
4	36-14	入居者の行動障害(被害妄想・盗られ妄想等)に対し、職員も語尾が強くなったり、冷静に対応する事が難しくなる時もある。今後も入居者個々の真の願いや真の原因分析を深め、根本解決に向けてアセスメントを行っていく。	・本人の思いを知る。	・D-4・ひもときシート等を活用して原因を追究する。 ・対処法ではなく原因を探る。 ・認知症実践者研修を受講する。(4月~12月の間に4回)	12 ヶ月
5					ヶ月